

那覇地区中体連野球専門部

1. 那覇地区中体連のガイドラインの確認

(1) 以下の事項に該当する場合は自主的な参加を見合わせる（大会当日に書面にて確認する）

- ① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・喉の痛み、咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去 14 日以内に政府から入居制限、入閣後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 大会前と大会開催時について

- ① 大会開始 2 週間前から、息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・高熱等の症状があった場合は、かかりつけ医等に相談し受診すること。
- ② 大会開始 2 週間前から発熱等の風邪症状がある場合は部活動を休み外出を控えること。
- ③ 上記①②の症状が出た生徒においては、活動の中止と健康観察を行い、症状が治まった時点で活動を再開する。活動を再開する前に、担当教諭と当該生徒は、当該校の校長へ報告すること。

(3) 夏季大会の競技実施について

- ① 那覇地区夏季軟式野球大会は、会場への出入りは登録選手及び部員・顧問・引率者・部活動指導員・外部コーチ・大会役員・審判員・学校責任者・救護対応保護者(4人)のみとします。

※試合ごとの救護対応保護者の入れ替えは出来ません。ただし、日ごとの入れ替えは可能です。

- ② 那覇地区夏季大会は、会場に保護者を入れない
- ③ 屋外は 200 名以下かつ人と人との間を 2m 程確保する。
- ④ 大声を出してはいけないため、観戦のみとなり、声を出しての応援は無し。
- ⑤ 大会当日の会場に入る前に選手は必ず、健康チェックシート(2 週間分の検温あり)を提出させる。持っていない選手は取りに帰させる。健康チェックシートは専門部長が集約し、1 ヶ月預かる。
- ⑥ 会場に入る人（引率教諭、外部コーチ、審判、責任者、アルバム業者等会場に入る人全て）はチェックリストを記入してもらう。（チェックシートも専門部長が集約し、1 ヶ月預かる）
- ⑦ 会場及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者(学校職員)を任命し、事前、大会当日、事後に専門部長、会場責任者と連絡が取れる環境を作る。
- ⑧ 1 日に複数回試合を行う場合は、各試合後に消毒をする。
- ⑨ 試合終了後のベンチ入れ替えは消毒をして次の試合のチームを入れる。

(4) 参加可能な健康状態について

大会開始日 2 週間前から当日までの健康状態において発症及び症状消失の状況が認められた場合、以下①および②の両方の条件を満たす状況であれば出場、参加が認められる。

- ① 発症後に少なくとも 8 日が経過している。
- ② 発症等の風邪症状の生徒が、かかりつけ医や医療機関を受診できない場合は、解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤を使用せずに、発熱や風邪症状の消失から少なくとも 72 時間（3 日間）経過している。

※咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢など

【8日が経過している】とは：発症日を0日として3日間のこと

【3日が経過している】とは：解熱日・症状消失を0日として3日間のこと

尚、上記に該当しない場合であってもPCR検査または同等の検査（Smart Amp法検査等）により院生が確認され、症状消失後に参加可能とする。

対象者への対応は、以下のとおりとし、上記に該当しない場合は各感染対策責任者（参加チームの学校職員）が対応し、参加を自粛させ、専門部長へ報告する。最終的に那覇地区中学校体育連盟事務局が情報を把握する。

※選手やチーム役員：当該チーム感染対策責任者

※運営スタッフやメディア：専門部長・那覇地区中学校体育連盟事務局

(5) 各会場について

① 諸室等

○各会場入り口や各部屋には消毒用アルコールを準備する。

○全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生するのを阻止し、ドアノブ等を介した接触感染を防ぐ。

○喫煙場所を設けない。

② 手洗い場所

○手洗い場所には、ポンプ型の液体または泡石けんを用意する。

○「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

○手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。

○アルコール消毒液を準備する。

③ トイレ

○「便器のふたは閉めて後に汚物を流す」よう表示する。

○手洗い場はポンプ式液体または泡石けんを用意する。

○「手洗いは30秒以上」等掲示する。

○手洗い後に拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。

○アルコール消毒液を準備する。

④ 審判控え室

○広さにゆとりを持たせ、審判同士が密になることを避ける。

○ゆとりを持たせることが難しい場合は、別室を用意する。

○室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所については消毒する。

※審判員の注意事項

◎審判員は審判控え室の滞在する場合はソーシャルディスタンス確保する。

◎審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

◎審判員への給水は紙コップを使用し毎回取り換える。

⑤ ベンチ

○ベンチでは間隔を開けて座れるようにする。

○1日に同会場で複数試合を行う場合は、試合終了ごとにベンチの消毒を行って下さい。

⑥ 応援

○ベンチ入りメンバー以外の部員をスタンドへ入れる。応援者については観客席(スタンド等)が「密」にならないように、一定の距離を保って感染するようにする。

- 大声を出しての応援を控える。得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。
- 選手・応援生徒の体調管理や緊急搬送時の連絡係のため各チーム4名の保護者（ID保持者）の入場を許可する。
- オーダー交換時にチームの代表保護者も参加し、応援の方法やマナーについて説明を行う。
- 自チームの試合が終了後スタンドの軽い清掃及び消毒を行い次の試合のチームと完全に入れ替える。

(6) 事前通達

- ① 体調が悪い人は来場を控える。
※監督及び引率者においても、当日・前日の体調が悪い場合は来場を控える。その場合、学校関係者から代理をたてることとする。(代理の職員は、学校長の承認のもと大会に参加する。)
- ② 来場し移動する際はマスクを着用する。
- ③ 大声での声援や大旗を使っての応援は行わない。
- ④ 場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、型を組むなどの行為は控える。

(7) 大会当日（大会関係者を会場内に入れる場合には、以下の点を注意）

- (ア) 試合会場各所（入退場ゲート、トイレ等）にアルコール消毒液を設置する。
- (イ) 入場前に健康チェックシートを提出してもらい、入場可否の確認を行う。
- (ウ) 体調の悪い人への感染自粛を促すアナウンスを徹底する。
- (エ) 注意しても改善されない場合は退場してもらおうなどの措置を講じる。
- (オ) 大会会場に許可なく入った人がいた場合は試合を中断する。

(8) 試合前におけるチームへの伝達事項

- (ア) 試合前、試合後に相手チームとの握手は実施しない。
- (イ) 試合終了後の校歌斉唱を行わない。
- (ウ) 円陣を組まない。
- (エ) 得点時にハイタッチ、抱擁をしない。
- (オ) 球場内でも咳のエチケットを守り、唾を吐く、手・鼻をかむなどの行為を行わない。
- (カ) 口に含んだ水を吐かない。
- (キ) ボトルを共有しない。
- (ク) 飲料用、熱中症対策、アイシング等については事前に個人用を準備する。
※チームで準備したクーラーボックスに氷をビニールに小分けして入れておき、アイシング用として使い、使い捨てにするなど工夫する（ゴミは必ずチーム・個人で持ち帰る）
- (ケ) タオルを共用しない。
- (コ) 競技中、チームメイト、審判員と会話をする際も互いの距離について配慮する。

(9) 大会参加者における留意点（ウォーミングアップ時を含む）

- (ア) 十分な距離を確保する。全ての競技において、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人と距離（2mが目安）を開けること。（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
ウォーミングアップ時も呼気が激しくなるため、より一層距離を開ける必要がある。また、マスクをしていない場合には、十分な距離を開けるよう特に留意をする必要がある。

(イ) 位置取り(前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、併走する。あるいは斜め後方に位置を取ること。

(ウ) その他

○運動スポーツ中に唾や端を吐くことを極力行わないこと。

○タオルの共用をしないこと。

○飲食については、指定場所以外では行わず、周囲の人と距離をとって対面を避け、会話を控えめにすること。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。

○飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば路上)に捨てないこと。

(10) ゴミの廃棄方法

会場で発生したゴミを収集する際はマスクや手袋を必ず着用して下さい。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、各チームで持ち帰り下さい。トイレのゴミ箱は手洗いの際に使用したペーパータオルのみ捨てて下さい。マスクや手袋を脱いだ後は必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒して下さい。

(11) その他

これらのことを実施しても感染リスクはゼロにすることはできません。その点を理解した上で大会への参加をしていただくとともに、関係者への周知を行って下さい。

また、特に夏場においては、各諸室の窓、ドアの開放、参加者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発生するリスクが高まります。こまめな水分補給を心掛けましょう。

(12) 事後対応

万が一観戦者が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会参加者から取得した書面や健康チェックシートを1ヶ月保存する。

各専門部長は、大会終了後3日以内に各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪いチーム関係者、大会関係者がいないか確認して下さい。

万が一大会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示を従うとともに、那覇地区中体連事務局にその旨ご報告下さい。また、チームから競技大会終了後14日以内に感染者発生のご報告があった場合にも、同様にその旨那覇地区中体連事務局にご報告下さい。

※感染が疑われる事案が発生した場合は、健康チェックシートを事務局に提出して下さい。

2. 大会日程及び会場

4月23日(土)	4月24日(日)	4月30日(土)
ANA ボールパーク浦添 他7会場	ANA ボールパーク浦添 他7会場	ANA ボールパーク浦添 浦添中学校

3. 大会の持ち方について

(1) 試合について

① 第1試合の開始時間を8時30分とする。

② ゲーム間を20分(ベンチの消毒等)とする。

③ 監督会を7時に行う。

④ 各チームは会場に入るのは前の試合のチームがはけてからとする。

⑤ ゲーム以外はマスクを着用する。(会場への移動の際。食事等以外はマスク着用)

(3) 準備する物

各チーム	専門部
<p>①マスク（予備） ②非接触型温度計または体温計 ③ベンチ消毒用道具（消毒液や雑巾、消毒用シート等） ④ビブス(救護対応保護者4名分) ⑤救護対応保護者用 ID ⑥大会当日検温チェックシート ⑦検温（2週間分）チェックシート ※全員分 ⑧チェックリスト ※各チーム1枚 ※⑦⑧の提出はありません。</p>	<p>①マスク(1箱を会場分) ※依頼した役員や審判がマスクを忘れた時に配るため ②会場用消毒液及びスプレー(大会終了後の消毒用) 大会終了後回収する ③ ペーパータオル ④ ゴミ袋(手洗い場に置く) ⑤ ビニール手袋 ⑥手洗い石鹸(ポンプ式)</p>